



国立水俣病総合研究センター（国水研）広報誌

とんとん峠

34号

(2012.09)

新しい「とんとん峠」がお手元に届くころにはすでに秋の気配が深まっていることと思いますが、今年も厳しい暑さが続きました。皆様は、どのような夏を過ごされましたでしょうか？ 今号は、特集として、毎年夏休み期間中に開催している国水研オープンラボ（一般公開）の様子を中心にご紹介いたします。

国水研は、水俣病についての総合的な調査、研究、そして国内外の情報の収集、整理及び提供を行うこととこれらに関連する研修の実施を目的として環境省の機関として熊本県水俣市に設置されています。

国水研は、わが国の公害の原点といえる水俣病とその原因となったメチル水銀に関する総合的な調査・研究、情報の収集・整理・研究成果や情報の提供を行うことにより、国内外の公害の再発を防止し、被害地域の福祉に貢献することを目指しています。



目次

● オープンラボ

一般公開の様子

● 国水研からのお知らせ

● 健康メモ

● 編集後記

● アクセスマップ

●特集

「オープンラボ（一般公開）」

来所者数、過去最多を記録

毎年夏休み期間に開催している国水研「一般公開」ですが、今年も名称を柔らかく「オープンラボ」にリニューアルし、時期も通常より早く、七月二十八・二十九日に開催しました。本イベントの認知度が徐々に上がってきているためか、開催時期がよかったためか、今年の来所者数は、これまでで最多の二七五名に上りました。たくさんのご来場、本当にありがとうございました。

昨年に引き続き、最も人気の高かった「液体窒素を使ったマイナス二〇〇度の世界」の理科実験教室では、「そのまま夏休みの自由研究に使える」と熱心に記録していく親子連れの方が何組かいらっしやいました。



背後から、一生懸命に記録写真を撮る保護者の方。

血管年齢・肺年齢測定や毛髪水銀値測定といった健康に関する企画も人気で、「ご自身やご家族の健康についての関心の高さを示していました。

革に色をつけたり、文字や模様を打ち込んだりして、オリジナルの携帯ストラップを作るコーナー、カラフルなアイロンビーズでキャラクターや動物、昆虫などのデザイン板を作るコーナー、ペーパークラフトの犬のマスケットづくりなどのコ

ーナーでは、子供も大人も熱心に作品作りに取り組んでいました。

水俣湾の生き物に触れる「タッチプール」では、職員が事前に二日ほどかけて、生き物採集をします。採集中に大雨が降るなど悪天候に見舞われましたが、無事準備が整い、当日は子供たちがいろいろな生き物の感触を確かめていました。タッチプール終了後には、採集した生き物は海にリリースされました。



細長い紙のリボンを編み上げて作るマスケット。一つひとつ個性が出ます。



子どもたちも、最初はこわごわですが、慣れると積極的に触っていました。

定番の人気企画に加え、今年は新しく「ペーパークラフトグラフィック」の不思議という企画をご用意しました。色によって、紙と親和性が高いのか、水と親和性が高いのかが、この実験でわかります。サインペンで好きなデザインを描いて、溶液を垂らすとにじみ絵のようになります。結果は、ラミネート加工して美しいコースターのように仕上げ持ち帰って頂きました。



実験というより、工作として楽しめる方が多かったようです。

この暑さで屋上に上られる方は、それほど多くはなかったのですが、実は、国水研から望む湯の児等の景色は絶景です。昨年、オーシャンビュールに感動して、「あの景色はなかなか見られないから、また見に来たい」という方がいらっしやいました。今年、屋上の景色を見逃したという方は、ぜひ、来年はご覧になってみてください。

アンケートでは、「楽しかった」



日差しの照り返しがきつく、傘をさして屋上見学をされていました。

「勉強になった」「来年も子供向け理科教室をしてほしい」といった声が多く寄せられていました。来年もできるだけ、皆様のご期待に応えられるように、企画を工夫してまいりますと思います。ぜひ来年も国水研オープンラボにお越しください。職員一同、心より待ちいたしております。

★むつかつぽ Atelier から
展示物のご案内

八月から、前回に引き続き、水俣在住のデザイナー野中アスカさんの作品を展示しています。缶バッジや石けんのパッケージ、ポスター等のデザインやイラストなど、楽しくポップな空間となっています。



九月中旬からは、彩風・田中郁子さんの染物やローズペーパー作品を展示する予定です。お楽しみに。Atelier では、随時、展示作品を受け付けています。

〈問い合わせ〉

むつかつぽ Atelier

水俣市大園町一の三の六

TEL 八四一九五五三

国水研の動き

(平成二十四年七月～平成二十四年九月)

- 七月五日 国水研・慶應義塾大学 研究連携協力に関する協定書交換
- 七月七日 第二十六回健康セミナー
「メタボとロコモを予防改善する運動身体活動」
- 国立健康・栄養研究所
健康増進研究部長 宮地元彦氏
- 七月二十四日 視察研修 筑波大学附属駒場高校
- 七月二十八日・二十九日 オープンラボ(一般公開)
- 八月二十三日 慶應義塾大学(小林教授・清水教授) 来所
- 八月三十一日 視察研修 阿久根市民病院附属看護学校
- 八月二十六日 KITA 研修
(中国・エジプト・フィリピン・スリランカ)
- 九月三日 視察研修 法政大学附属第二中学校
新潟県立大学
- 九月十日 来客 東北学院大学教授 遠藤銀朗氏
- 九月十三日 視察研修 司法修習生
- 九月十七日～十月一日 JICA研修(ブラジル)
- 九月二十七日・二十八日 NIMDフォーラム

お知らせ

①NIMDフォーラム 2012 開催

国立水俣病総合研究センター
(National Institute for Minamata Disease: NIMD)では、毎年、国内外の専門家を招聘し、水銀に関するテーマで公開研究発表会(NIMDフォーラム)を開催しております。
今年のNIMDフォーラムは、熊本市にて開催される環境化学・環境毒性に関する国際学会(SETAC Asia/Pacific 2012)との共催で開催し、水銀の毒性や環境保健に関する最近の進歩について発表が行われます。多数の方々のご来場をお待ちしております。

【と き】平成二十四年九月二十七日
(木)～二十八日(金)
【ところ】水俣病情報センター講堂
(水俣市立水俣病資料館隣接)

〒八六七-〇〇五五

熊本県水俣市明神町五五-1-〇

【参加費】無料

【発言言語】英語(通訳なし)

♥健康メモ

歯周病の予防について

「じつかり噛んで食べる」という行為は健康な歯があるからであり、食事を楽しくおいしく感じる基本となります。しかし、虫歯や歯周病(歯周病菌が出す毒素で歯を支える組織が破壊される病气)が原因で七割以上の人が永久歯を失い、わが国では成人の八割以上が歯周病に罹患しているといわれています。

歯周病は歯の問題だけではなく、体の病気とも深く関係し糖尿病やメタボリックシンドロームの悪化や、脳卒中や心筋梗塞にかかる危険性も二倍も高くなります。

歯周病に移行する四〇歳代前から予防や治療を徹底すれば自分の歯を失わずに健康な生活が送れますので次の事に留意しながら生活して下さい

- ① 毎食後歯を磨き、口の中を清潔にする。
 - ② 「よく噛んで」食べる習慣を身につける。
 - ③ 年に一〜二回は受診して歯石を除去する。
 - ④ 不規則な食習慣を改めて、肥満や糖尿病にならないようにする。
 - ⑤ 「禁煙」する。
 - ⑥ ストレスは上手に解消する。
- など
- 自分の歯を八〇歳まで二〇本以上残して、健やかに楽しい人生を送って下さい。



臨床部 宮本

編集後記 本日のとんとん峠

七月に阿蘇地方で集中豪雨による甚大な被害が出ました。水俣でも九年前に大規模な土石流災害がありました。災害の教訓を活かし、非常時に備えるとともに、例年通り、競り船や一般公開が開催されたことに感謝したいと思います。

とんとん峠では皆様からの「意見・ご感想をお待ちしております。左記のメールアドレスまでお気軽にお寄せください。」

メール mai@nimd.go.jp
アクセスマップ

